

# 富士市立中央病院 病院だより

第 22 号

発行:平成25年10月20日

〒417-8567 富士市高島町50

電話:0545-52-1131 FAX:0545-51-7077

E-mail:byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/

お問合せ:病院経営課(内線2221・2222)

Fuji City General Hospital

## 広がっていく、薬剤師のフィールド。

平成25年6月から院外処方を実施し、全ての病棟に薬剤師を配置しています。医療の質の向上及び医療安全の確保の観点から、チーム医療において薬剤師が主体的に薬物療法に参加することとなりました。入院患者さんのお薬に関わらせていただく機会が増え、入院患者さんにとって薬剤師が今までよりずっと身近な存在になるのではないのでしょうか。



### 病棟における薬剤師の主な業務内容

#### 1 持参薬管理

入院前に患者さんが医療機関から処方されて飲んでいたお薬を入院時に持参してもらい、これを『持参薬』として管理します。薬歴の確認、処方内容(お薬の量、服用方法、飲み合わせ等)の確認を行い、医師・看護師と連携して持参薬の管理をしています。

#### 2 服薬指導

薬剤師は、入院中に処方された飲み薬や注射薬について患者さんが十分に理解できるよう説明・指導しています。患者さんとの面談、カルテから薬歴やお薬の飲み合わせ、検査値などにより効果の確認、副作用の軽減と防止に努めています。

#### 3 薬剤管理

病棟にあるお薬の数や使用期限など適正であるかどうかを定期的に確認しています。また、必要に応じてお薬の特性を踏まえて用法・用量の調節を行っています。(治療薬物モニタリング)

その他にも、ICT(感染制御チーム)、NST(栄養サポートチーム)、緩和ケアチーム、褥瘡対策チームなど医師や看護師、コメディカルとともに院内の様々なチーム医療の一員として活動し、より安全な薬物治療が行われるように努めています。また医師の回診へ同行したり、抗がん剤の調製なども行っています。

現在、病棟における活動を始めて間もないため、すべての入院患者さんのお薬に関わることができていません。まだ行っていない業務の開始も含めて、ひとりでも多くの入院患者さんに対応できるよう努めていきます。



# 画像誘導機能搭載の放射線治療装置を導入

この度、当院では最新のテクノロジーを搭載した米国バリアン社製のClinac-iXを導入しました。

高齢化や食生活の変化により、がんが増加傾向にある現在、がん治療の3本柱のひとつである放射線治療の需要も高まっています。放射線治療のメリットは臓器を切らずに機能を温存できることです。また、治療の際は周囲の重要臓器に影響を与えないよう、病巣にできるだけ集

中して放射線を大量に照射し、副作用を抑えることが求められます。

この製品は、放射線治療の照射精度向上を目的としてX線による撮影機能を搭載しているため、画像誘導放射線治療(IGRT)、呼吸同期照射(RPM)などの最新の放射線治療技術が可能であり、従来の治療装置に比べて格段の正確性があることから、以前にも増して患者さんに優しい治療が実現できます。



## ＜画像誘導放射線治療(IGRT)とは＞

放射線治療の機器に搭載された高精度なX線管球を用い、治療寝台上でX線撮影、X線透視、さらにCT撮像を行うことで、患者さんの位置誤差を照射直前に補正し正確に放射線治療を行います。

## ＜呼吸同期照射(RPM)とは＞

肺や肝臓など呼吸によって動く臓器の腫瘍に対して呼吸のタイミングに合わせて照射する技術で、患者さんの呼吸による体表の動きを赤外線でもニタリングし、呼吸の位相を捉えることによって呼吸同期照射を行います。

# ICT(感染制御チーム)の活動

ICTとは感染制御チーム(Infection Control Team)の略称で、院内で起こる様々な感染症から患者さんや職員の安全を守るために活動する組織です。医師、看護師をはじめとして多くの職種が集まり、横断的に病院全体の感染対策活動に従事しています。ICTは毎日、感染症情報を収集し、評価・分析・対策の立案など、感染対策に対して即座に対応できる体制を取っています。また、毎週の院内のラウンド(巡回)で感染対策の状況や療養環境の確認を行い、毎月の定例会議では院内の感染症に関するデータの評価や、報告・協議を行っています。

さらに、時代とともに目まぐるしく変化する感染対策に対応できるよう、積極的に学会や研究会に参加して新しい情報収集に努めるとともに、

当院での活動成果に関する発表をしています。また、地域の5病院と連携し感染対策に関する検討会を3ヶ月ごとに行うなど富士地区の感染対策の向上にも貢献しています。

患者さんと直接お目にかかる機会の少ないICTですが、安全な入院生活の裏方としてがんばっていますので、今後ともよろしく願います。

## ● 当院が行っているICTの活動内容

- ・ 院内感染の監視と発生状況の調査
- ・ ICTラウンド(巡回)
- ・ 抗菌薬の使用状況の把握と適正使用の推進
- ・ 職員からの感染症に関する相談対応
- ・ 感染対策マニュアルの作成・改訂
- ・ 職員に対する勉強会や講習会の開催

# 富士市立中央病院外来担当医表

平成25年10月1日現在

診療科 《部長名》		月	火	水	木	金	備 考		
内 科 (代謝一般内科)《藤井常宏》 (呼吸器内科)《木村哲夫》 (腎臓内科)《笠井健司》 (消化器内科)《鳥巢勇一》 (神経内科)《森田昌代》	初診	山城 勝俣 藤井 比企 木村 宇田川 梶原 森田 河野	比企 上田 瀧 木村 笠井 堀内 森田	宇田川 五味 谷口 比企 高橋 鳥巢 森田	瀧 春原 藤井 比企 木村 宇田川 中野 森田	中野 金井 山城 比企 渡辺 笠井 鳥巢	水曜の谷口医師は、午後予約のみ  《神経内科初診は完全紹介状制》 月曜の河野医師は午後2時～4時		
	循環器科 (循環器内科)《三川秀文》 (心臓血管外科)《田中 圭》	初診	阪本 富永 田中	阪本 三川 橋本	三川	阪本 三川 阿部		銭谷/富永 三川 阪本	金曜の銭谷医師は奇数週、富永医師は偶数週 火曜の初診受付は、午前10時まで 火曜の橋本医師は第1週のみ
	小 児 科《瀬川孝昭》		千葉 瀬川 秋山	千葉 瀬川	千葉 瀬川 秋山	千葉 秋山		千葉 瀬川 秋山	
	外 科《梶本徹也》	初診	武田 谷島 入村 石山 (交替制)※	入村 兼平 道赫 良元	兼平 梶本 石山 柏木	石山 梶本 北村 石山 森川		北村 良元 道赫 柏木	初診担当医師は変更する事があります  ※は下肢静脈瘤・ヘルニア外来(午後のみ) 木曜の森川医師は、偶数週の午後2時～4時 診察は午前9時～12時、午後1時～2時半
		女性専用の外来	梶本						
	整形外科《田邊登崇》		田邊 土田	永井 坂本 加藤	(交替制)	永井 坂本 加藤		田邊 土田	《初診は完全紹介状制》 水曜は初診のみ(紹介状制) 水曜の初診受付は、午前8時半～午前10時
		脳神経外科《諸岡 暁》	中村 野田	秋山 諸岡	(交替制)	武井 野田		諸岡	
形成外科《平川正彦》		平川	森山	平川	(休診)	森山			
泌尿器科《後藤博一》		後藤 小野寺	鈴木	後藤	鈴木	後藤 大林	診察は午後1時半～3時		
	女性専用の外来			本田					
産 婦 人 科《窪田尚弘》	初診	窪田 矢田 小田 鈴木	伊藤 小田 窪田 窪田 廣中	鈴木 伊藤 窪田 鈴木	小田 窪田 鈴木 鈴木	矢田 鈴木 伊藤 窪田 金山/長橋	《婦人科初診は完全紹介状制》 ← 婦人科再診 ← 妊婦健診 ← 不妊症外来 診察は午前8時半～9時半 ← 婦人科 診察は午後1時半～2時半		
	女性専用の外来								
	眼 科《藤谷暢子》		藤谷 杉山	藤谷 杉山	藤谷	藤谷 杉山		藤谷 杉山	水曜は紹介状初診及び予約のみ
耳鼻咽喉科《重田泰史》		宇野 森本	(交替制) 重田	(交替制) 森本	宇野 重田	(交替制)	金曜は初診のみ		
皮 膚 科《津嶋友央》		津嶋 栗原	津嶋 栗原	津嶋/栗原	津嶋 栗原	津嶋 栗原	水曜の津嶋医師は奇数週、栗原医師は偶数週		
放 射 線 科		成尾 竹永	道本/東條 竹永	渡嘉敷/大木 竹永 野中	松井/福田 竹永	成田/渡辺 竹永 小宮山	← 診断外来《初診は完全紹介状制》 ← 治療外来(10月18日照射開始)		
	歯科口腔外科《勝山直彦》	勝山 井出 近藤	勝山 井出 近藤 小林/阿部	勝山 井出 近藤	勝山 井出 近藤 北/須田	勝山 井出 近藤			

※都合により、内容が変更になることがあります。  
※女性専用の外来を担当する女性医師は、赤字で表示しています。

## ●医師の人事異動について

退任日:平成25年8月31日 就任日:平成25年9月1日

診療科	退任医師名	就任医師名	診療科	退任医師名	就任医師名
循環器科	ヤマザキ コウシ 山崎 弘二	ゼニタニ ダイ 銭谷 大			

退任日:平成25年9月30日 就任日:平成25年10月1日

診療科	退任医師名	就任医師名	診療科	退任医師名	就任医師名
小児科	イノウエ タカシ 井上 隆志		脳神経外科	ササキ ユウイチ 佐々木 雄一	タケイ ジュン 武井 淳
形成外科	ミヤケ ケイスケ 三宅 啓介	モリヤマ ソウ 森山 壮			ナカムラ アヤ 中村 文

## 各科紹介 ～外科～

## 市民から信頼される、高度な手技を。

東京慈恵会医科大学外科から派遣されている12名のスタッフによる外科診療を行っています。外科治療の対象となる疾患は消化器疾患、乳腺疾患、呼吸器疾患、血管疾患と多岐にわたります。血管疾患を除くと悪性腫瘍(がん)患者さんが多く、手術だけではなく、化学療法や放射線治療などを含めた集学的治療に取り組んでいます。外科病床数は68床で、救急医療(緊急手術)にも24時間対応しています。外来は4人体制で、昨年11月には女性専用の外来が開設され、外科として乳腺外来を週1回行っています。

富士市の中核病院として、“富士市の病気は富士市で治療する”ことを目標として地域医療のために、高度な医療を迫及しています。近年、外科領域では鏡視下手術が急速に広まっています。当科でも鏡視下手術を積極的に導入しており、消化器

手術で半数以上、呼吸器手術ではほぼ全例に鏡視下手術を行っています。対象となる疾患は、食道癌、逆流性食道炎、食道アカラシア、胃癌、急性虫垂炎、大腸癌(結腸癌・直腸癌)、そけいヘルニア、腹壁ヘルニア、腸閉塞、胆石症、脾腫、肺癌、自然気胸、縦隔腫瘍など多岐にわたります。

今後も当院が富士市民から、より一層信頼される病院になることを目標に、これからもスタッフ一同研鑽を積んでゆきたいと考えています。



## 所属紹介 ～外来Cチーム～

## 患者さんの不安や緊張を和らげたい。

外来はABCDの4つのチームから構成されています。外来Cチームは放射線科、内視鏡室、救急外来の3つのグループが集まっています。外来看護長1名、参事兼副看護長1名、副看護長1名、主任看護師3名、看護師26名、医療補助員7名で構成されています。

放射線科は、心臓カテーテル検査・臓器の造影検査・超音波検査・放射線治療などを行っており、中には長時間におよぶ検査もあります。

内視鏡室は、胃カメラ・大腸鏡・気管支鏡・胆石などの検査及び治療が行われています。今年4月に消化器内科の医療スタッフが充実したことから検査・治療の件数も増加しています。

救急外来は、富士市の2次救急を担っており、緊急入院や緊急手術が必要な患者さんや、富士市内の診療所などからの紹介の患者さんを受け入れています。

私たちが患者さんと出会うのは、検査や救急の場面です。患者さんは計り知れない不安や緊張に襲われています。検査や処置の妨げにならない限り患者さんに声を掛け励まし、患者さんが安心して検査や処置が受けられるよう心掛けています。今後も検査や救急診療が安全にスムーズに進むよう、看護師と医療補助員が協力し、安全で安心な医療の提供に努めて参ります。





# おしらせ

## 【せきエチケットで感染防止】

毎年秋から冬にかけては、インフルエンザの流行シーズンです。インフルエンザの感染を広げないために、一人ひとりが「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。

インフルエンザなどの感染原因である、せきは1.5メートル、くしゃみでは3メートルもウイルスを含むしぶきが飛び散ります。すべての呼吸器感染症の感染拡大を防止するために、「せきエチケット」を守りましょう。また、手洗いやマスクの着用も重要となります。

### 《 病院からのお願い 》

インフルエンザの流行時期が近づいてきました。インフルエンザは感染力が強く、入院している患者さんが罹患すると重症化してしまいます。発熱やせき・くしゃみのような症状がある場合は面会を控えてください。

～「せきエチケット」とは～

- ・せきやくしゃみの際は、ティッシュなどで口と鼻を被い、他の人から顔をそむけ、1～2メートル以上離れる。
- ・せき、くしゃみの際に使用したティッシュはゴミ箱に捨て、他の人が触らないようにします。
- ・ティッシュが無い時は、手ではなく、周囲に触れにくい腕で鼻と口を押さえて周りの人から顔をそむけます。
- ・つばや鼻水が手に付いたら、石鹸で丁寧に洗い流します。
- ・せき、くしゃみなどの症状がある人は、マスクを正しく着用し感染防止に努めましょう。



## 【整形外科の完全紹介状制・完全予約制のお知らせ】

当院は、地域医療の二次救急医療（手術・精密検査が必要な人）を担う病院として機能しています。その機能を維持するため、平成20年6月から整形外科外来では紹介状制・予約制を取り入れています。

初診の方はまず、近隣の医療機関を受診し二次の医療が必要と見なされた場合、紹介状を書いても

らい受診をしていただきます。

再診の方は、完全予約制です。現在の診断名で、症状が悪化して予約外で受診を希望される場合は、事前に整形外科外来に電話して予約を取り、受診することをお勧めいたします。

## 【診察前の保険証確認にご協力ください】

診察前に保険証の確認を実施しております。再診の方は、正面玄関に入って右側にある「保険証確認窓口」または、2階計算センターの「保険証確認窓口」

にて、保険証をご提示ください。確認作業にお時間を頂く場合もございますが、ご協力をお願いします。

※保険証に変更がなくても月に一度、保険証の提示をお願いします。

※手続き等でお手元に保険証がない場合でも、変更があることをお伝えください。

※保険証確認ができていない方は、受付後「保険証確認窓口」にご案内させていただく場合もあります。

## 【イベントスケジュール】

### ①糖尿病予防キャンペーン

日時 平成25年11月9日(土) 12:00～14:30

場所 イオンタウン富士南

主催 富士市立中央病院

概要 血圧・血糖値の測定等

### ②市民公開講座

日時 平成25年12月10日(火) 18:30開場19:00開演

場所 ロゼシアター 小ホール

講師 東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科

主任教授 宇都宮一典 先生



# 総合相談センター～こんな相談を受け付けています～

内線2046

- 看護相談(がん相談含む)・よろず相談…患者さんご家族が抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病気や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。
- 医療安全相談…受けた医療に関して疑問や不安があるが、医師に相談しづらい事など、専従のリスクマネージャーがご相談に応じます。
- 医療福祉相談(健診含む)…患者さんの介護保険の利用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、転院先案内など、医療ソーシャルワーカーがご相談に応じます。(医療福祉相談のみ **内線2918**) ※場所は1階正面玄関入って、すぐ右手の地域連携室内です。受付時間及び相談時間 月曜日～金曜日 8:30～16:00 お気軽にお声をお掛け下さい。

## その他の病院内の相談は…



- お薬相談  
月～金 8:30～17:00 相談室(お薬渡し口隣り)  
お問い合わせ:薬剤科 **内線2126**
- 栄養相談 ※予約制です。  
月～金 栄養相談室(2階循環器科外来隣り)  
お問い合わせ:栄養科 **内線2146**
- 検査に関する相談・血糖自己測定器の説明  
月～金 8:30～17:00 中央検査相談室(2階)  
お問い合わせ:臨床検査科 **内線2267**
- フットケア相談 糖尿病の患者さんの足のケア  
第2・第4水・木曜 13:30～15:30 内科外来(2階)  
お問い合わせ:内科外来 **内線2285**
- 医療放射線被ばく相談 ※予約制です。  
火・木曜日 放射線科外来(1階)  
お問い合わせ:中央放射線科 **内線2153**

## 各種教室のご紹介

患者さんご家族を対象とした各種教室を開催しています。開催日・講義内容については中央病院にお問い合わせの上、お気軽にご参加ください。開催場所は、各教室いずれも中央病院2階大会議室です。

- 腎臓病教室 お問い合わせ:栄養科 **内線2146**  
日時:毎月第3火曜日 15:00～16:00
- ファミリークラス  
お問い合わせ:産婦人科外来 **内線2337**  
日時:毎月3回 13:00～15:00

## 出前講座のご紹介

当院職員を学校・会社・町内会の集まり・医療施設等へ派遣します。講座は全部で61メニュー、すべて無料で実施します。ぜひ、ご利用ください。

- 詳細は当院ウェブサイトまで  
<http://fujishi.jp/~byoin/>  
お問い合わせ:病院経営課 **内線2221**

## <富士市立中央病院の理念>

富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の皆さまにより良い医療をやさしく安全に提供し、常に医療の向上に努めます。

## <富士市立中央病院職員宣言>

- 1 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
- 2 私たちは、知りえた個人のプライバシーは、必ず保護します。
- 3 私たちは、検査・治療・予後などについて、分かりやすい説明に努め、患者さまの意思を尊重します。
- 4 私たちは、患者さまの必要や希望があれば、他の医療機関へ紹介し、必要な情報を提供します。
- 5 私たちは、市立病院としての自覚のもと、絶えず自己研鑽し、コスト意識を持ち、効率的な運営に努めます。
- 6 私たちは、医療機関相互の連携に心して、地域の医療体制への貢献に努めます。

## <平成25年度病院指針>

「広げよう連携 磨きあおうサービスの心」

富士のふもとのグルメコンテスト  
3年連続グランプリ  
2013 殿堂入り



焼肉弁当[牛] 国産牛使用 945円(税込)  
5,250円以上のご注文で富士・富士宮市内へ配達いたします。

焼肉飯店  
**京昌園**  
KEISHOEN

個室・席・宴会のご予約受付中。  
お弁当のご注文承ります。

☎0120-08-2989

www.k-shoen.com

全店年中無休

4名様より無料送迎バス承ります。

列館・列館はなれ・富士みなみ店・富士宮店

認定補聴器  
技能者在籍  
専門スタッフ  
だから  
任せて安心!

各メーカー新製品続々登場!  
『環境シュミレーター』導入!  
(補聴器装着後の聞こえの確認が可能に)

富士宮補聴器センター

選ばれる理由は“お客様第一主義”  
富士・富士宮の2店舗で対応

夫婦店(富士) 富士市石坂  
大淵街通沿い  
TEL・FAX 0545-53-2365

富士宮補聴器センター  
夫婦店  
富士市石坂85-16  
営業時間 9:00～17:00  
日・祝日定休 駐車場あり



富士宮店 富士宮市錦町  
イオンSC富士宮東側  
TEL・FAX 0544-27-5629

富士宮補聴器センター  
富士宮店  
富士宮市錦町2-25  
営業時間 9:00～18:00  
第3日曜定休 駐車場あり



広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。  
「病院だより 第23号(1月20日発行)」に広告を掲載しませんか。お問い合わせ:病院経営課 内線2221・2222